

東北町 議会だより

第 79 号

発行 青森県東北町議会
編集 議会広報特別委員会
電話 0176-56-4227
住所 東北町上北南四丁目32-484



令和6年11月23日 東北町中学生議会

東北町の未来を担う中学生たちに議会の体験を通じまちづくりに興味を持ってもらうことを目的に東北町中学生議会が開催されました。

主 な 内 容

- ◆12月定例会で審議された議案等 2～3 P
- ◆一般質問 4～6 P
- ◆各委員会の活動（10月～12月） 7 P
- ◆委員会報告 8～10 P
- ◆議会の動き（10月～12月） 10 P
- ◆東北町中学生議会 11 P



東 北 町 議 会
ホ ー ム ペ ー ジ
二 次 元 バ ー コ ー ド

◎12月定例会

12月定例会は、12月5日に招集され11日までの7日間の会期で開催されました。今期定例会では、町長より提出された補正予算案件7件、条例等に関する案件10件、計17件が上程され原案どおり可決されました。

また、本会議では、蛭澤正雄議員、斗賀高太郎議員、市川俊光議員の3人が一般質問に立ち、活発な議論を交わしました。

審議された議案等は以下のとおりで、主な質問内容は3ページののとおりとなっております。

審 議 さ れ た 議 案 等

○令和6年第4回東北町議会定例会（令和6年12月11日）

議案番号	件 名	議決結果
議案第80号	令和6年度東北町一般会計補正予算案（歳入歳出予算の総額に9,976千円を追加）	原案可決
議案第81号	令和6年度東北町国民健康保険事業特別会計補正予算案（歳入歳出予算の総額に9,274千円を追加）	原案可決
議案第82号	令和6年度東北町後期高齢者医療特別会計補正予算案（歳入歳出予算の総額に37,562千円を追加）	原案可決
議案第83号	令和6年度東北町介護保険特別会計補正予算案（歳入歳出予算の総額に2,302千円を追加）	原案可決
議案第84号	令和6年度東北町介護サービス事業特別会計補正予算案（歳入歳出予算の総額に415千円を追加）	原案可決
議案第85号	令和6年度東北町上水道事業会計補正予算案（収益的支出の営業費用に1,177千円を追加）	原案可決
議案第86号	令和6年度東北町下水道事業会計補正予算案 （収益的支出の営業費用に621千円、資本的支出の建設改良費に818千円をそれぞれ追加）	原案可決
議案第87号	東北町犯罪被害者等支援条例案	原案可決
議案第88号	東北町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案 （東北町議会議員の期末手当の支給割合を改める改正）	原案可決
議案第89号	東北町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案 （町長等の期末手当の支給割合を改める改正）	原案可決
議案第90号	東北町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案 （職員の給料月額及び期末手当の額等の所要の改正）	原案可決
議案第91号	東北町消防団条例の一部を改正する条例案 （各分団や地域実情等を考慮した体制への見直しを図るための改正）	原案可決
議案第92号	東北町空家等の適切な管理に関する条例の一部を改正する条例案 （空家等対策の推進に関する特別措置法の改正に伴う所要の改正）	原案可決
議案第93号	東北町乳幼児医療費給付条例の一部を改正する条例案 （子ども・子育て支援法等の改正に伴う所要の改正）	原案可決
議案第94号	東北町下水道事業償還基金条例の一部を改正する条例案 （下水道事業の公営企業会計化に伴う所要の改正）	原案可決
議案第95号	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について（西北五環境整備事務組合の解散に伴う規約の変更）	原案可決
議案第96号	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について（西北五環境整備事務組合の解散に伴う規約の変更）	原案可決
	議員派遣について	派 遣

○令和6年第5回東北町議会臨時会（令和6年10月24日）

議案番号	件 名	議決結果
議案第77号 (専決第9号)	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて （令和6年度東北町一般会計補正予算）	承 認
議案第78号	令和6年度東北町一般会計補正予算案（歳入歳出予算の総額に16,456千円を追加）	原案可決
議案第79号	工事請負契約の変更契約の締結について（小川原通跨線橋上部工撤去工事）	原案可決

主な質疑内容

○議案第80号（令和6年度東北町一般会計補正予算案）

問 農業振興費の新市場開拓用米支援事業補助金136万6千円の中身を教えてください。

答 今年度から始まった県の事業で、輸出用米の作付けを拡大する農業者に対して、拡大面積に応じて10アール当たり4千4百円補助します。

問 観光費の観光リーフレット作成業務委託料の内容を教えてください。

答 ふれあい村を含む施設のほか、温泉を含む町の観光スポットを紹介しております。今回の補正は、英語表示対応のパンフレットに変更する内容となっております。

○議案第91号（東北町消防団条例の一部を改正する条例案）

問 団員の定数を350人から300人に変更する内容だが、実団員数は何人いるのか。また、実団員数に変更がないのに財政効果があるのか教えてください。

答 実団員数は、東北地区が139名で上北地区が125名になっております。また、青森県消防補償組合に支払う負担金の積算は、実団員数でなく定数条例をもとに計算されますので支払金額が減少になります。

東北町犯罪被害者等支援条例を制定

東北町は、近年、県内においても傷害事件や性犯罪が後を絶たず、その被害者や家族が精神的・経済的に大きな負担を負っている現状があることから、犯罪被害者等が安心して暮らすことができる社会を目指します。

（目的）

犯罪被害者等の支援に関する施策を総合的に推進し、もって町民が安心して暮らすことができる社会の実現に寄与することを目的とする。

（犯罪被害者等支援の主な内容）

- (1) 相談支援と情報提供・・・相談受付及び情報提供を行うための窓口を設置し関係機関等との連絡調整を行う。
- (2) 経済的支援・・・犯罪被害者及び遺族の経済的負担の軽減を図るため見舞金を支給する。
- (3) 居住安定支援・・・犯罪被害後の生活の再建を支援するため、引越し及び新居への入居費用を助成する。
- (4) 心理的支援・・・犯罪被害による精神的な被害の回復・軽減のため相談に係る費用を助成する。
- (5) 雇用安定支援・・・事業者に対し犯罪被害者等が置かれている状況について理解を求め、被害者の就業支援を行う。

（施行日）

令和7年4月1日

乙供駅前駐車場の 市日について



えび 蛸 議員

問① 乙供市日で乙供駅前駐車場の一部の利用をどういう経過で、貸しているか伺います。

町長答弁 この事業は、乙供駅及び上北町駅周辺のまちなかにおいて、にぎわい創出を図る事業者や団体等を、駅前にぎわいパートナーとして登録し、平日、土日祝日問わず各種イベントを実施することで、駅前の活性化を推進することを目的に、駐車場の一部を無料貸し出ししております。

問② 実態として、月に1のつく日に3日だけ使用するのに柵を設け閉鎖し町民が利用できない声があるが伺います。

町長答弁 駅前駐車場から全く動かない車両が数台あり、主催者に迷惑をかけたことから、バリケードを設置しました。駅前駐車場は、どなたでも利用できる駐車スペースと

なっており、町民の皆様、ご利用いただいていた皆様方には、ご不便とご迷惑をおかけいたしましたことにお詫びを申し上げます。今後は、市日の前当日のみの制限とし、看板を掲げるなど対応していきたい。

酪農政策は

問① 酪農家の戸数、生牛乳量等が平成22年からどれ程減少しているか。その対策にどんな具体的な事業を実施しているか。

町長答弁 当町の酪農家の戸数は59経営体から令和5年度で28経営体となっており、生乳の生産量は約18,000トンから令和5年度で約16,000トンとなっております。町で行っている主な対策は、未經産牛の購入に係る費用に対し長年補助してきており、採草地更新に係る

費用や休牧している町営放牧場を活用し採草地無償貸し出しを行っております。

問② 萩原牛乳は、東北町の酪農家だけの牛乳を原料と答弁していたが本当か伺います。

町長答弁 萩原乳業(株)で作られている「萩原牛乳」は我が町を含む県内の生乳100%で作られております。なかでも「あおい森の牛乳」は東北町で生産された生乳100%で作られております。



「ミルキング」と「しじみーる」

中学生が

台湾と交流事業は

問① 今年度、台湾と中学生の交流事業を実施したようだが、台湾側、受入れ主体を伺います。

町長答弁 台湾、台北市、天母(てんむ)国民中学校と東北中学校、上北中学校が姉妹校締結しておりますので、台湾側の受入れ主体は、天母(てんむ)国民中学校及び、天母(てんむ)国民中学校のPTAということになります。

一般質問の詳細
や再質問について
は、HPをご
確認ください。



※ミルキングは萩原乳業のイメージキャラクターです。



とが 賀 高太郎 議員

部活動の地域移行は

問① 両中学校における各部活動の地域移行についてはどの程度進んでいるのか。また、全く進んでいない部活動は何か。地域移行が進まないのはどういった理由があるのかお伺いします。

教育長答弁 現在の地域移行の状況については、東北中学校は、完全に移行しているという部活動はなく、移行に向けて検討中としている部活動は、陸上部、スキー部、バドミントン部、ソフトテニス部となっています。移行して

いない部活動は、野球部、バスケットボール部、剣道部、吹奏楽部となっております。地域移行が進まない理由については、毎日指導できる人材が見当たらない。学校単位での出場が可能となっている。初心者生徒の受け皿にもなっているなど挙げられております。上北中学校では、完全移行している部活動は、柔道部、野球部となっております、完

全移行に向けて検討中であるという部活動は、卓球部、剣道部、水泳部となっております。移行はしていない部活動は、バスケットボール部、ソフトテニス部、バレーボール部、陸上部、吹奏楽部となっており、移行していない部活動の主たる理由は、移行したのが地域に受け皿がないというのが大きき理由となっております。

問② 地域移行に向けての当町における今後の方向性についてお伺いします。

教育長答弁 令和7年度中には、関係者と更なる議論を重ねながら、非常に難しいことではありますが、生徒、教職員、保護者等が納得のいく形のものを作り上げていければと考えております。

廃校の活用は

問① 現在廃校となっている4つの学校の利用公募状況及び管理状況をお伺いします。

町長答弁 「廃校利活用に係る公募型プロポーザル募集要項」に基づき、ホームページにて、全国から利活用についての募集を行っており、募集当初は、利活用に関する問い合わせが4件、現地視察が1件ありましたがマッチングには至らず、その後は問い合わせ等もなく、未だ利活用の方

向が決定されていない状況にあります。管理状況については、施設の安全管理を考慮し破損箇所の補修及び、除草等の最低限の維持管理を実施している状況であります。

公共施設の統廃合及び維持管理は

問① 東北町でも人口減少や施設の老朽化が進んでおりますが、既存施設の統廃合及び今後の維持管理についてお伺いします。

町長答弁 これまで施設の統廃合は、児童生徒数の減少に伴う小・中学校の統廃合を行ってきましたが、そのほかの施設の統廃合は行っており、今のところ計画もありません。今後とも施設の老朽化状況や将来の在り方を踏まえながら、老朽化対策を計画的に推進し安全性の確保と機能維持に努め、指定管理者制度の活用や長寿命化等を推進することで、維持管理の適正化に取組み住民サービスの低下を招かないよう努めてまいります。



いちかわみつ 市川 俊 光 議員

ジェンダーギャップを 解消する取り組みは

問① 若い女性が地方から首都圏へ移動する傾向が進んでいると聞くが、わが町での状況はどのようなになっているか。

町長答弁 東北町における若い人の首都圏への移動傾向は、男女ともに転出が転入を上回る転出超過の傾向で推移しており、過去3か年の平均では男性7人の減、女性14人の減と女性の転出者が多くなっております。

問② 女性の定着へ、男女格差を解消する取り組みが必要と考えるが、認識を問う。

町長答弁 地方への定住を妨げている要因として、ジェンダーギャップもその一因だと認識しており、国や県及び地域の事業者等皆様と共に男女格差を解消する取り組みを推進して参りたい。

問③ 役場に、ジェンダーギャップ解消に取り組む部署を設置し、継続的な取り組みを行う考えはないか。

町長答弁 現在、ジェンダーギャップ解消等を含む男女共同参画社会の推進に関する業務については、企画課が担当しており、女性職員の役職登用や男性職員の配偶者出産休暇及び育児参加休暇の取得率向上に努めるなど、ジェンダーギャップ解消を推進する取り組みについて継続的に取り組んでおります。

問④ 町職員の人事において、どのようにジェンダーギャップ解消を進めるのか。

町長答弁 町職員の人事においては、採用・昇進などの公平な評価制度の確立、職場環境の改善、そして意識改革が必要と考えており、人事評価制度を導入、育児休業取得を

奨励、女性職員の活躍を推進する体制の整備、ハラスメント研修等においても、ジェンダーに関する無意識の偏見を解消するなど職員の意識改革にも取り組んでおります。

米軍三沢基地への F35戦闘機の 配備について

問① 米軍は、2026年春から三沢基地へのF35戦闘機の配備を開始するとしているが、騒音がいつそう激しくなることが予想される。町としてどう対応するのか。

町長答弁 町としては、町民の生命と生活を脅かすような恐れがある場合には、町民及び議員の皆様と協議し要請又は議会基地対策特別委員会と共に町民負担の軽減又は不安の軽減等に向けて要望活動を粘り強く行なって参りたい。

問② 町は、騒音被害の軽減・解消をめざすという基本姿勢を持つべきであると考えているがいかがか。

町長答弁 防衛省と共に住宅防音事業又は民生安定事業等を進め、町民への負担軽減又は不安の軽減等町民に寄り添いながら負担軽減に努め共存共栄を目指して行くものと考えております。

問③ 米軍三沢基地による被害や不安について、基地周辺地域の住民の声を聴く懇談会を行う考えはないか。

町長答弁 「町づくりミーツイング」を各地区で実施し、町内全域で抱える問題や不安など町民に寄り添い広く町民の声を聴き地域と共に最善策を考慮して参りたい。

各委員会の活動（10月～12月）

★総務企画常任委員会

開催日	事 件（内容）
10月8日 11月20日	(1) 正副委員長互選について 所管事務調査 (1) 総務課
	① 犯罪被害者等支援について ② 消防団員の定数について ③ 合併20周年について
(2) 財政課	・ 補正予算の概要説明
(3) 企画課	・ 補正予算の概要説明
(4) 税務課	・ 補正予算の概要説明
(5) 会計課	・ 補正予算の概要説明

★産業建設常任委員会

開催日	事 件（内容）
10月8日 11月21日	(1) 正副委員長互選について 所管事務調査 (1) 建設課
	① 岩渡沢川改修工事の変更について ② 除雪業務について
(2) 上下水道課	・ 補正予算の概要説明 ① 主要事業の進捗状況について（上下水道事業等）
(3) 農林水産課	・ 補正予算の概要説明
(4) 商工観光課	・ 補正予算の概要説明

★教育民生常任委員会

開催日	事 件（内容）
10月8日 11月22日	(1) 正副委員長互選について 所管事務調査 (1) 学務課
	① 甲地小学校の児童数の推移と複式学級について
(2) 町民課	・ 補正予算の概要説明
(3) 福祉課	・ 補正予算の概要説明
(4) 高齢介護課	・ 補正予算の概要説明
(5) 保健衛生課	・ 補正予算の概要説明
(6) 社会教育スポーツ課	・ 補正予算の概要説明

★議会運営委員会

開催日	事 件（内容）
10月8日 11月29日	(1) 正副委員長互選について ① 会期日程について ② 令和6年第4回東北町議会定例会付議事件の概要 ③ 一般質問通告状況
	(2) 陳情書等の取り扱いについて

★小川原湖環境保全対策特別委員会

開催日	事 件（内容）
10月31日	(1) 合併処理浄化槽（小川原湖周辺集落）設置状況について
11月18日	(2) 高瀬川水系での国・県の取り組みについて
11月25日	(3) 要望活動等について 要望活動（高瀬川河川事務所）
11月26日	東北地方整備局 国土交通省
12月11日	(1) 県管理河川の環境整備状況について
12月26日	(2) 小川原湖の水環境等について (3) 要望活動等について 要望活動（青森県庁 県土整備部、環境エネルギー部）

★議会広報特別委員会

開催日	事 件（内容）
10月23日	(1) 議会だより第78号の編集について

★全員協議会

開催日	事 件（内容）
10月8日	(1) （仮称）道の駅足湯施設の概要について
10月24日	(2) 防衛施設周辺整備統合事業について
12月5日	(1) タブレット端末の導入について (1) 期日前投票所の設置（新設）について (2) 投票所の再編（統廃合）について (3) 投票時間の繰り上げについて (4) 町の選挙における選挙広報の発行について

★議会改革特別委員会

開催日	事 件（内容）
12月17日	(1) 町議会議員の定数について

委員会報告

○総務企画常任委員会

（11月20日開催）

委員長 田 嶋 悟



所管事務調査結果

総務課

・犯罪被害者等支援について

犯罪被害者等が安心して暮らすことができる社会を目指すため、「犯罪被害者等支援条例」を制定する。支援内容としては、相談支援と情報提供、経済的支援、居住安定支援、心理的支援、雇用安定支援を行う。

【質疑】経済的支援の見舞金の額はどのように決めるのですか。

【回答】支給要綱を制定し遺族見舞金として死亡した場合に30万円、重傷病を負った場合は10万円という金額を設定する予定です。

・消防団員の定数について

東北町消防団の条例定数は平成17年に定め、平成23年4月に改正を行って350人となっているが、令和6年4月1日現在の実団員数は264人で、今以上に実団員数と定数の乖離が大きくなっていくことが予想されるため、現在の町消防団の実情に即した条例定数の整備を図る。

1 見直し内容

令和7年4月1日より条例定数350人から300人へ削減する。

2 見直しをした場合の影響・効果

実団員数に変更がないことから現在の地域防災力は維持され、引き続き、各種対策を講じ団員の確保及び地域防災

力の向上を図っていく。財政負担…毎年1,254千円減額。

・合併20周年について

1 式典部会（記念式典、祝賀会、町表彰）

式典、祝賀会の期日
令和7年10月11日（土）
午前10時～午後2時
式典、祝賀会の場所
式典・表彰…町民体育館
祝賀会…町民文化センター

2 広報PR部会（記念誌の発行、ロゴ・キャッチフレーズ作成）

①記念誌の発行 令和7年10月（式典にて配布予定）
②ロゴ・キャッチフレーズ作成

3 イベント部会（記念イベント、タイアップ事業）

①20周年記念イベント
②既存事業とのタイアップ

その他

・選挙事務の見直しについて

1 期日前投票所の設置（新設）

道の駅「おがわら湖」へ期日前投票所を新たに設置することとします。設置する時期は、来年7月執行予定の参議院議員通常選挙からとします。

2 投票所の再編（統廃合）

第10区虫神集会所（対象区域は虫神）を第9区小川原地区コミュニティセンターへ、第20区美須々地区生涯学習センター（対象区域は美須々・柵・豊瀬）を第19区淋代地区生涯学習センターへ再編する。

・廃止となった投票所へ移動期日前投票所を設置します。
・新たな投票所まで、投票日当日、町バスなどで送迎を行います。

3 投票時間の繰り上げ

全投票区で投票時間を午前7時から午後7時までとする。

4 町の選挙における選挙広報の発行

・普通財産の使用について

【質疑】普通財産の使用について、町の未利用地を使用する場合の賃借料や使用料についての条例や規則を確認したい。

【回答】普通財産の使用については条例で定めており、使用料については計算方式がありますので、申請いただいた使用期間により使用料を算定し、支払いしていただいて貸付けするという形になります。

選 挙 公 報	候補者の氏名、経歴、政見、写真等を掲載したものを発行
対象となる選挙	町長及び町議会議員選挙
掲載の申請期限	掲載を受けようとする候補者は告示日まで（確定版） （掲載内容は事前に審査を行う）
配 布 方 法	・新聞折り込み ・公共施設に備え付け ・町ホームページへ掲載

○産業建設常任委員会

(11月21日開催)

委員長 笹 倉 健



所管事務調査結果

建設課

・岩渡沢川改修工事の変更に
ついて1 専決処分を必要とする理
由

現場精査をした結果、工事内容に変更が生じるため地方自治法第180条第1項の規定により専決処分を予定。

2 変更工事の主な内容

工種河川土工の種別補強土壁工(吸出防止材)を273㎡減少する。

3 岩渡沢川改修工事の請負
契約の一部を次のとおり
変更する予定。

請負代金「72,270,

000円」を「71,511,

000円」に変更し「759,

000円」の減となる見込。

4 契約の相手方

岩渡沢川改修工事

(有) 信栄工業・東北軌道工業(有)

・除雪業務について

11月5日に行われた除雪業

務委託の入札の結果、歩道区域を含む全36地区の業者が決定いたしました。除雪区域及び除雪業者は、広報とうほく12月号に掲載しております。

今年度の除雪区域は一部見直しを行っております。なるべく地区を跨がない様に区分けしております。また、東北地区の大池の最後から中村へ抜ける道路については、冬期間通行止めとすることから除雪区間が短くなっております。

積雪状況については、パト

ロールのほか各地区に設置した積雪センサーにより判断し運用しております。

※積雪調査地点

令和5年度

センサー設置箇所 7箇所

令和6年度

センサー設置箇所

10箇所増設 合計17箇所

【質疑】このセンサーは業者も見れるのか、それとも役場だけで判断して除雪の指示を出すのか。

【回答】今は役場の職員だけが見れる状況にあり、今後業者等にもわかるように考えています。

【質疑】県道と町道との境目の盛り上がりがすごい、どういう対策を考えていますか。

【回答】役場運転手が対応している。町民から連絡があれば役場で対応いたします。

上下水道課

・主要事業の進捗状況について(上下水道事業等)

令和6年10月末現在

水道事業については、満期量水器取替事業の進捗率は60%、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業の進捗率は、60%、水道施設等耐震化事業の進捗率は30%、美須々・淋代地区統合事業の進捗率は45%となっており、淋代地区深井戸築造工事は、11月20日現在で、井戸掘削(ボーリング工)が完了し、今後、ケーシングパイプ挿入・揚水試験・水質検査等の工程となっております。

合併浄化槽設置整備事業については、進捗率は27%で完了実績が7基、申請受付済は14基となっております。

自然にやさしい住宅リフォーム支援事業補助金については、進捗率46%で完了実績が11件、申請受付済は18件となっております。

下水道事業については、公

営企業法適用化事業の進捗率は80%、社会資本整備総合交付金事業の進捗率は10%、100%となっており、進捗率10%は発注後間もなく、マ

ンホールポンプ監視装置更新工事は監視制御盤の資材等の調達をしている状況であります。

【要望】石綿管布設替工事について、未施工が上北地区で約17キロありスピード感を持ってやってもらいたい。

その他

・水稲に関する一部地域での
生育不良について

旭町地区・蓼内地区・黒志

多地区・鶴ヶ崎地区の令和6年産稲作について、生育不良が見受けられたことから原因究明調査を行った。その結果、小川原湖からの取水箇所及び用水路、水田内の水質はEC値が高いことが判明したが、天候状況など複数の要因が考えられるため引き続き、月1回水質調査を行っていく。

○教育民生常任委員会

(11月22日開催)

委員長 坂本直大



所管事務調査結果

学務課

・甲地小学校の児童数の推移と複式学級について

1 令和6年度～令和11年度までの甲地小学校の児童数・学級数の推移は次のとおりです。

令和6年度 児童数68人、8学級
 令和7年度 児童数62人、6学級（うち複式1）
 令和8年度 児童数56人、6学級（うち複式1）
 令和9年度 児童数51人、6学級（うち複式1）
 令和10年度 児童数48人、6学級（うち複式1）

学級編制基準

4学級（うち複式2）
 令和11年度 児童数44人、4学級（うち複式2）
 2個学年の複式学級は16名以下、第1学年を含む複式学級の場合は8名以下

2 複式学級の特長

【メリット】	【デメリット】
①一人一人の児童の実態が把握しやすく、個に応じた指導がしやすい。	①少人数のため、集団での活動や交流が固定化しやすい。
②学習の中で占める一人の児童の存在感が大きい。	②多様な意見が生まれにくい。
③自主的・自発的な学習態度が身に付きやすい。	③教師が関わり過ぎたり、自分の考えをうまく表現できなくても、わかり合えたりする状況に陥りやすい。
④よき協力者と、よきリーダー、そのどちらも経験できる。	

3 小規模特認校制度

「小規模特認制度」は、学校選択制の一つである特認校制を小規模校で実施するもので、特定の学校を「特認校」として指定し、少人数での教育の良さを生かした、きめ細やかな指導や特色ある教育を行うものです。

【質疑】小規模特認校は最低何人までの児童数で運営でき、開始時期はいつを目指すのか。

【回答】明確な人数の基準はありませんが、令和7年度を準備期間とし可能であれば令和8年度からを目指したいと考えております。



議会の動き (10月～12月)

月 日	用 務
10月8日	全員協議会 総務企画常任委員会 教育民生常任委員会 産業建設常任委員会 議会運営委員会
10月11日	七戸町議会合同研修会
10月22日	正副議長、常任委員長、議会運営委員長、事務局長研修会
10月23日	議会広報特別委員会
10月24日	第5回臨時会 全員協議会
10月31日	小川原湖環境保全対策特別委員会
11月1日	上北郡町村議会議長会第3回定例会・議員研修会
11月5日	知事を囲む行政懇談会、意見交換会
11月12日	県選出国議員との懇談会
11月13日	第68回町村議会議長全国大会 令和6年度町村議会議長全国研修会
11月18日	小川原湖環境保全対策特別委員会要望活動（高瀬川河川事務所）

月 日	用 務
11月19日	全国市議会議長会基地協議会理事会
11月20日	総務企画常任委員会
11月21日	防衛省表敬訪問 産業建設常任委員会
11月22日	教育民生常任委員会 要請活動（三沢防衛事務所）
11月25日 ～ 11月26日	小川原湖環境保全対策特別委員会要望活動（東北地方整備局、国土交通省）
11月29日	議会運営委員会
12月5日	定例会 全員協議会
12月10日	定例会
12月11日	定例会 小川原湖環境保全対策特別委員会
12月13日	東北町分屯基地視察
12月17日	議会改革特別委員会
12月26日	小川原湖環境保全対策特別委員会要望活動（青森県庁 県土整備部 環境エネルギー部）

東北町中学生議会 開催



議長
さかき 和 真
(上北中 3年)



副議長
ほら ない ゆい と
(東北中 3年)

11月23日、当議場において「東北町中学生議会」が、上北・東北各中学校生徒15名で中学生議員となり、東北町の将来や町づくり、議会や行政、選挙などについて、一般質問で町長に答弁を求めました。

また、自らの学校づくりを目指す宣言を議員発議し賛成討論を交え、中学生らしい視点で建設的な意見や提案を行いました。



一般質問

- ① 高校生への通学費助成について
- ② 観光客が増える取り組みについて
- ③ 赤ちゃんが増える取り組みについて
- ④ 観光・イベントについて
- ⑤ 町に住む人が増える取り組みについて
- ⑥ 台湾交流事業について
- ⑦ 観光客が増える取り組みについて
- ⑧ 上北中学校・校内環境について
- ⑨ 町がきれいになる取り組みについて

えび 蛸	さわ 沢	あお 碧	ね 音	(上北中3年)	議員
うし 漆	あや 戸	とも 瑞	の 乃	(東北中3年)	議員
まち 町	や 屋	朋	か 佳	(東北中2年)	議員
わ 和	だ 田	瑠	な 菜	(上北中3年)	議員
なか 中	むら 村	琉	い 唯	(東北中2年)	議員
お 小笠原	がさわら 井	さ 沙	え 愛	(上北中3年)	議員
むか 向	い 井	しゅん 隼	た 太	(東北中2年)	議員
よし 吉	むら 村	ゆう 友	か 伽	(上北中2年)	議員
なか 中	むら 村	た 太	い 偉	(東北中3年)	議員

議員発議

- ① 議会宣言 福田 愛華 (上北中2年) 議員 賛成討論 蛸沢 壮紫 (東北中2年) 議員
自発的に行動して活気ある学校づくりを目指し、次のことを宣言します。

○全校生徒の交流を増やし思いやりあふれる学校にすること。

○清潔な学校づくりを目指して時間いっぱい清掃し決められた仕事以外も率先することを。

- ② 議会宣言 沼辺 凜音 (東北中3年) 議員 賛成討論 織笠連太郎 (上北中2年) 議員
中学生の今から身に付けていきたいことを確認し実施するために、次のことを宣言します。

○ルールを守りマナーを大切にできる意識を一人一人がもつことでみんなが安心して生活できる学校にしていくこと。

○進んで運動したり掃除をしたりして体と心を鍛え、協力し合い笑顔と活気に満ちた学校にしていくこと。

○人と人とがあたかなつながりを持ち、全力で行事に取り組める学校にしていくこと。



えび 沢 まさ のり 議員

青森県褒賞を受賞

この褒賞は、昭和58年4月東北町議会議員に初当選以来、38年余の長きにわたり町議会議員として地方自治の振興発展に貢献した功績により表彰されました。(現在11期目)

この間、旧東北町第14代議長として責務を果たすとともに、当選以来、4度町議会運営委員会委員長に選任され、議会運営に尽力しております。

また、東北町議会小川原湖環境保全対策特別委員会委員長として、現地視察を幾度となく実施し、要望書を関係機関へ提出するなど、小川原湖の水質改善の為に強く働きかける等、地域の環境改善及び振興発展に寄与しております。

小川原湖環境保全対策特別委員会



R6.11.26 高橋国土交通副大臣へ要望

☆お知らせ
東北町テレビ
(東北町自主放送11チャンネル)
町議会3月定例会の放送予定は3月上旬を予定しております。再放送は、翌日の午後7時から放送予定。
放送日程や内容は、リモコンの「番組表」ボタンで確認することができます。

議長 岡山 粕 男
議会広報特別委員会
委員長 和田 勇 人
副委員長 大崎 昭 子
委員 田嶋 悟
委員 笹倉 健
委員 坂本 直 大
委員 斗賀 高 太郎

今月は「議会だより第79号」をお届けします。
本号は、12定例会を主に編集しましたが、内容の一部を要約しておりますのでご了承願います。
議会広報特別委員会では町民の皆様にご覧いただける紙面作りを心がけております。ご意見、ご要望等がありましたらご投稿をお願いします。

